

企業のエシカル通信簿の意義 ～「三方よし」の社会を、市民である私たちが共に創る～

2024年3月18日

大阪大学
社会ソリューションイニシアティブ
伊藤 武志



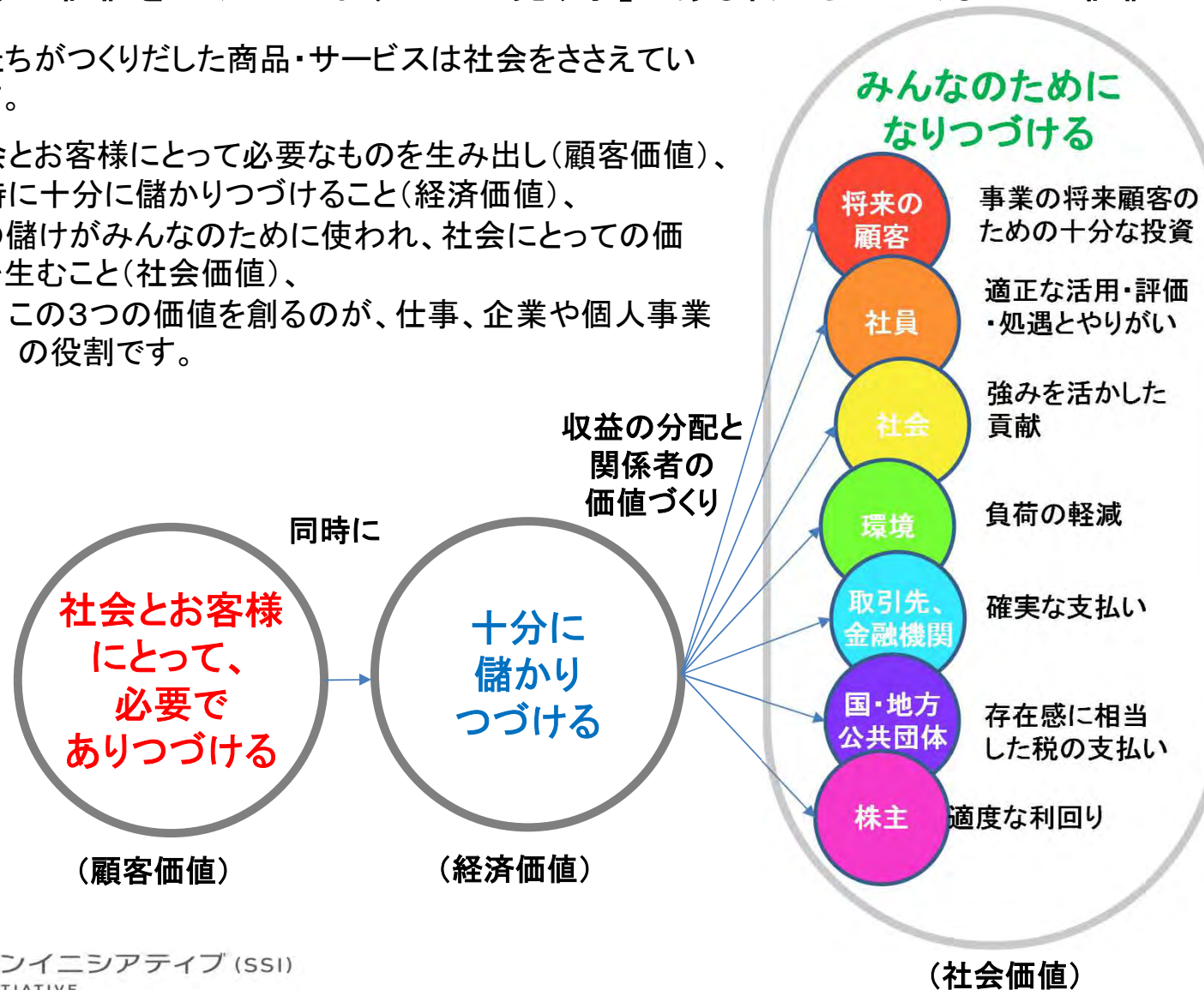
社会ソリューションイニシアティブ (SSI)
SOCIAL SOLUTION INITIATIVE

1. 仕事は価値をつくっています ~ 「売り手」である私たちがつくる3つの価値

私たちが作りだした商品・サービスは社会をささえています。

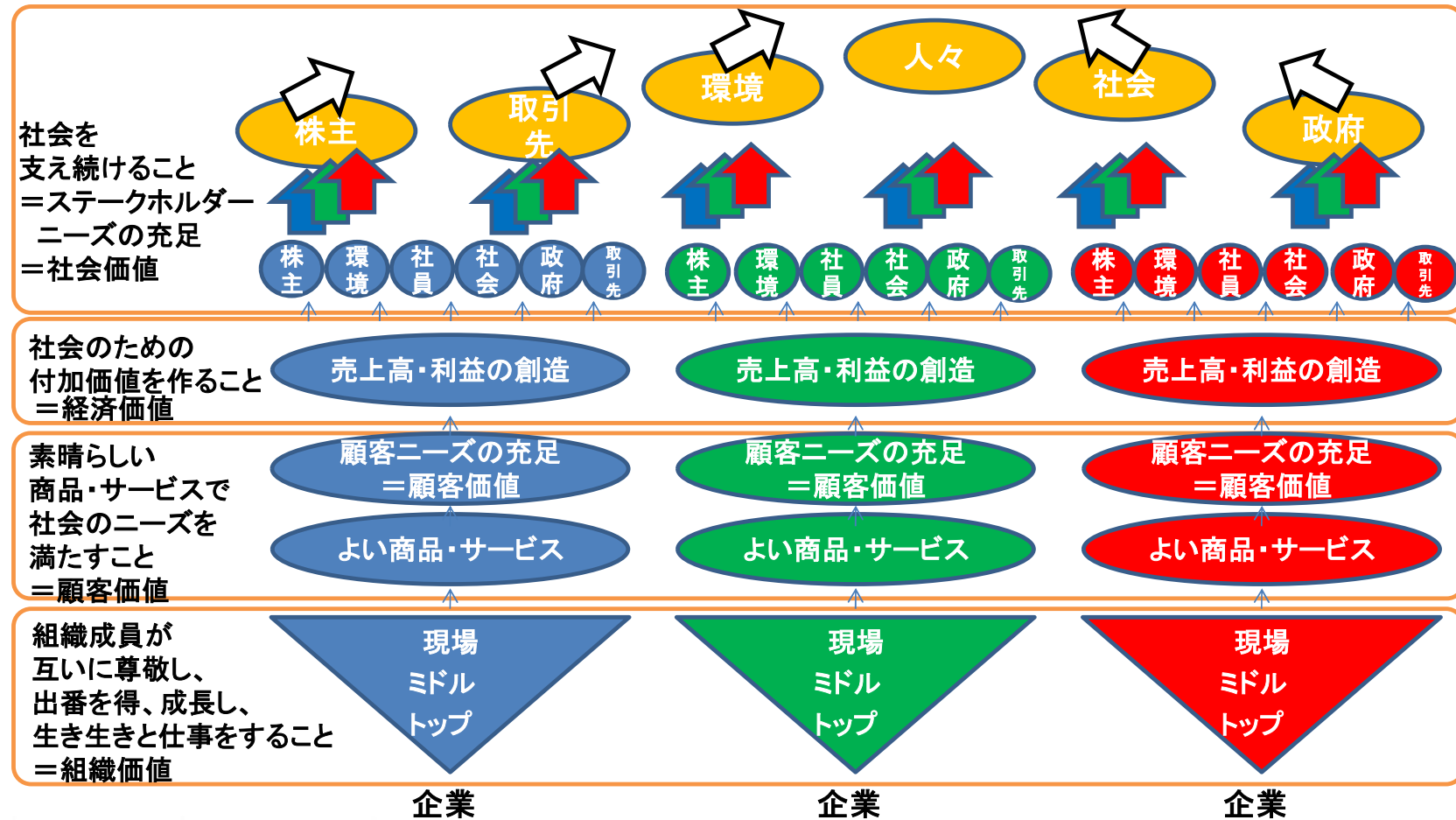
社会とお客様にとって必要なものを生み出し(顧客価値)、同時に十分に儲かりつづけること(経済価値)、その儲けがみんなのために使われ、社会にとっての価値を生むこと(社会価値)、

この3つの価値を創るのが、仕事、企業や個人事業の役割です。



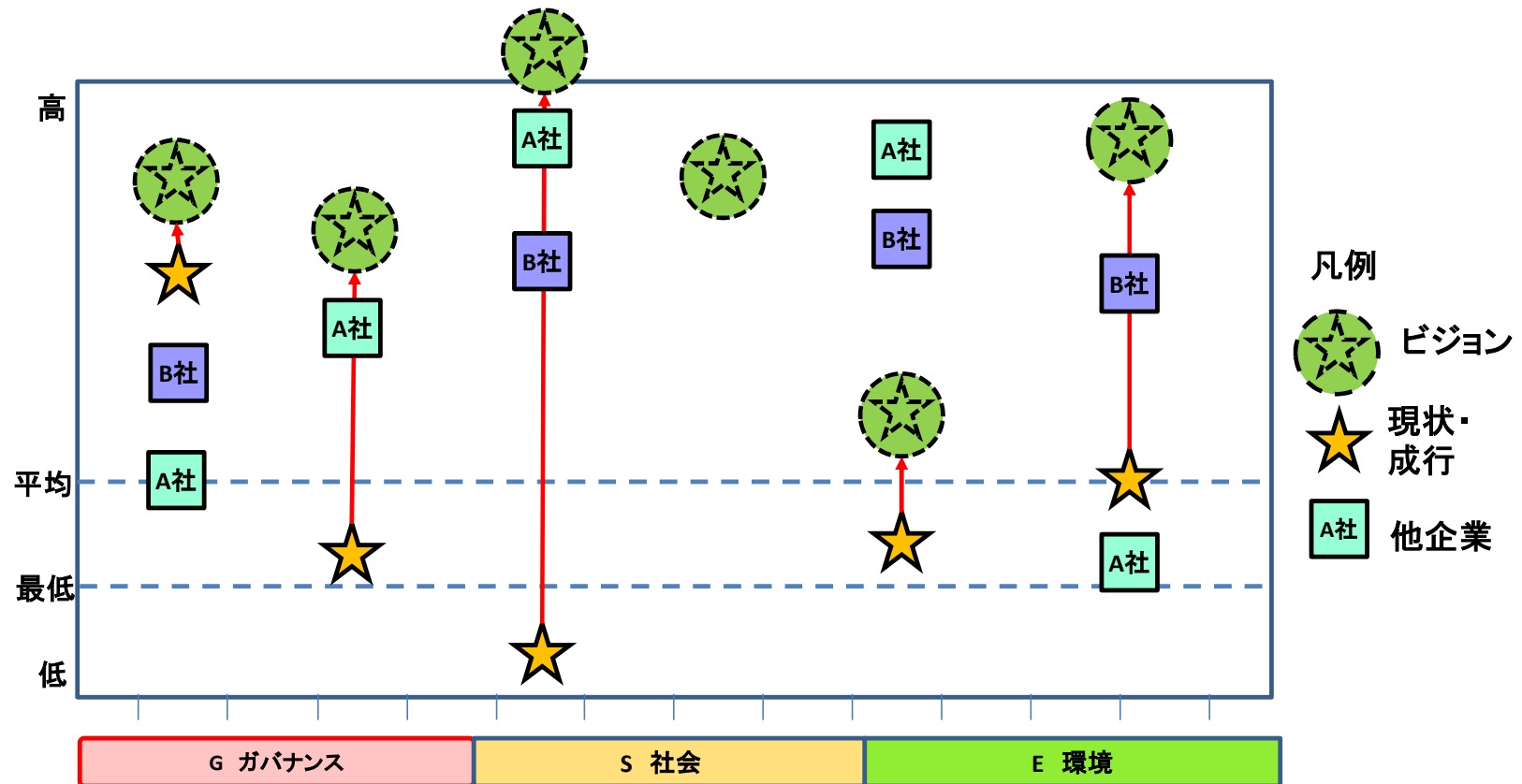
2. 「売り手」である私たちは、協力して社会を支えています

商品・サービスは社会を支え、同時に儲けが生まれて、それを合わせればGDPです。GDPのほとんどを作っているのは民間企業。この企業・個人事業の活動は助け合いそのものです。



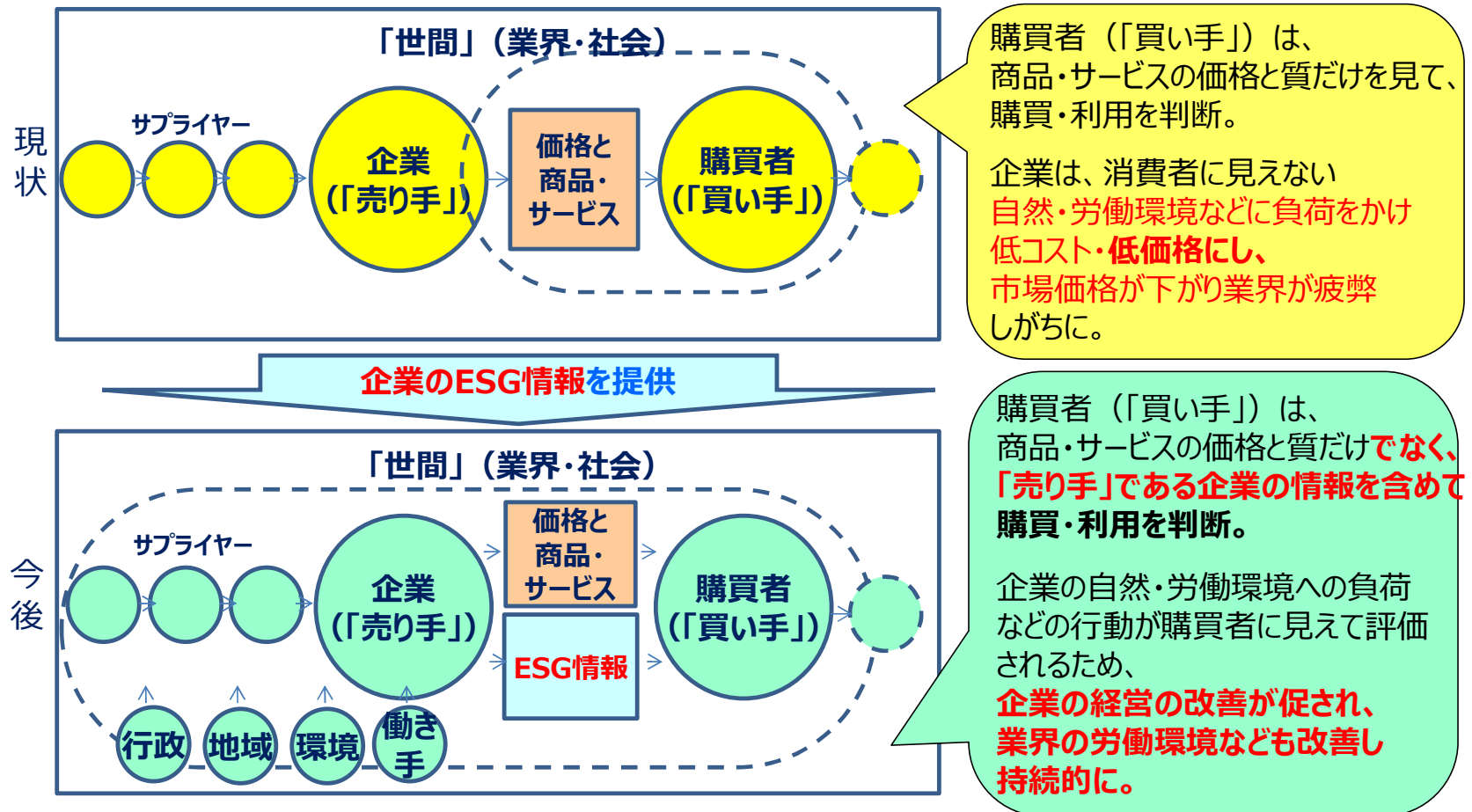
3. 「売り手」のESG(環境、社会、ガバナンス)のレベルアップイメージ

組織のESGを診断すると、ESGのさまざまな分野について、現在の組織の立ち位置がわかります。それを他企業などと比較できれば、さらに立ち位置が明らかになります。そして現状の立ち位置がわかると、どこが理想の位置なのか(改善目標)を決めやすくなり、実際の行動もしやすくなります。



4. 「買い手」である私たちが、よりよい社会づくりのパワーと責任をもてる時代に

「売り手」だけががんばっても「買い手」が共感し行動しなければ、それは独り相撲の孤立無援です。科学技術も活用し、私たちが行動すれば、「世間よし」になります。



5. 「買い手」である私たちが、「売り手」である私たちに寄り添い、行動した結果は？

「買い手」が、よい「売り手」の商品を買うようになれば、よい「売り手」（下図で企業）が増えます。そして、多くの企業が、より良い仕事を、よりできるようになります。そうして、その好循環がさまざまな市場に作ることができれば、社会にとって良い商品が作られて売られ、自分を含めた働き手の幸せ、社会の幸せも増えます。ぜひとも行動しましょう。

